

筑波大学理療科教員養成施設活動報告

施設長	吉川 恵士
准教授	宮本 俊和
講師	徳竹 忠司
	濱田 淳
技術専門職員	恒松隆太郎
専門職員	神田 聖子
外来非常勤講師	小林 智子
	佐藤 卓也
	菅原 正秋
	半田美香子
	森戸 麻美
	山口 智
臨床専攻生	土門 奏
	小堀 孝浩
理療研修生	原 早苗
	斉藤 敦
	佐藤 和正
	竹下 直人
	吉成 稔
	渡辺眞智子
	秋元 詳子
	小塩 卓也
	佐野 香織
	中村 千城
	深尾 泉

今年度は、以上 25 名のスタッフにより、筑波大学理療科教員養成施設理療臨床部における外来臨床を運営致しました。

1. 施設の概要

本施設は、あん摩マッサージ指圧師免許・はり師免許・きゅう師免許の 3 種を有する者を入学資格とし、定員 20 名の学生に 2 年間(88 単位)の教員養成教育を行い、卒業後に盲学校・視加障害センター・専修学校等の鍼灸マッサージ課程の教員免許を与える施設で、教育職員免許法にもとづき文部科学省が指定した教員養成機関であります。

また、施設附属の「理療臨床部」を中心として、あん摩マッサージ指圧、鍼灸、物理療法の基礎的・臨床的研究、および鍼灸師の卒後臨床教育を行うことを目的としている。

施設スタッフは、教員 4 名、専門職員 2 名、事務員 2 名で学生教育・卒後臨床教育を担当し、臨床活動・研究活動には、臨床専攻生・理療研修生が加わる。

臨床専攻生は、鍼灸に関する研究指導を受ける

者で、大学卒業であん摩マッサージ指圧師免許、はり師免許、きゅう師免許を有する者あるいは本施設卒業者が入学できる。

理療研修生は、鍼灸に関する臨床指導を受ける者で、はり師免許、きゅう師免許を有する者が入学できる。

2. 入学・就職状況

1) 施設学生入学

盲学校専攻科卒業見込者を対象とした平成 17 年度推薦入学では、受験者 16 名(女性 2 名)、合格者 4 名であった。

一般入学では、受験者 63 名(女 11 名)、合格者 17 名(女 3 名)であり、盲学校 14 名、専門学校 3 名であった。

2) 施設学生就職

本年度卒業予定者は 21 名、教員の求人数は 38 名であり、就職先の内訳は、盲学校 17 名、視障センター 1 名、専門学校 3 名であった。

3) 臨床専攻生、理療研修生入学・就職

臨床専攻生入学は、受験者 1 名、合格者 1 名であり、理療研修生は、受験者 12 名、合格者 6 名であった。臨床専攻生 1 名・理療研修生 4 名は進級し、理療研修生 1 名は開業・就職した。

3. 業務

理療科教員養成施設の授業、外来活動以外に、学内、学外の以下の業務を行った。

1) 大学院人間総合科学研究科スポーツ医学専攻で、「アスレティックリハビリテーション特講」、「アスレティックリハビリテーション演習」、「アスレティックリハビリテーション実習」の授業を行った。

2) 人間学類で、「物理療法」、「物理療法特論」の授業を行った。

3) 医学専門学群 4 年生を対象に、アドバンスコース「今日の医療としての東洋医学」について講義・実習を行った。

4) 文部科学省との共催で、現職教員の教育の一環として、盲学校理療科教員 112 名を対象に、4 日間「理療と社会」をテーマに筑波大学東京キャンパスにおいて講習会を開催した。

5) 社会人 40 名を対象として、公開講座「健康と東洋医学 家庭でできる手技療法」について講義と実習を行った。

4. 臨床活動

1) 理療臨床部

理療臨床部における診療は、月～金曜日の午前9時～午後5時(水曜日をのぞく)であり、全スタッフを2グループ(月木班,火金班)で運営し、指導者2-4人に、学生・専攻生・研修生がついて臨床にあたっている。本年度の理療臨床部の患者数は、初診350名、年間延べ患者数は7,500名であった。

2) 共同研究

筑波大学トレーニングクリニック:大学院人間総合科学研究科スポーツ医学専攻の医学系教官、体育科学系教官との共同研究により、スポーツ外傷・障害の鍼治療の効果、スポーツパフォーマンスに及ぼす鍼灸療効果について検討している。

筑波大学呼吸器内科:気道過敏性に対する鍼刺激の影響に関する研究を行っている。

順天堂大学泌尿器科:慢性前立腺炎を中心に泌尿器科領域の鍼治療の研究を行っている。

東京大学麻酔科痛みセンター:慢性疼痛患者に対する低周波鍼通電療法の有用性に関する研究を行っている。

5. 研究活動

著書・原著等

- 1) 吉川恵士:最新 誰でもできるゲルマニウムツボ療法 電子と医学社 2006.
- 2) 溝口秀雪編.スポーツマッサージ(分担)宮本俊和,原賢二.マッサージの作用・効果,10-26, 文光堂、東京、2006
- 3) 泉重樹,宮本俊和,原賢二,池宗佐知子,堀雅史,西村博志,宮川俊平:大学ボクシング部におけるトレーナー活動 -鍼治療を中心にした報告-, 全日本鍼灸学会雑誌,56(5):815-820,2006
- 4) 山下仁,形井秀一,石崎直人,江川雅人,榎田高士,宮本俊和,小松秀人:鍼灸 安全性に関する既存のエビデンス, 全日本鍼灸学会雑誌,56(1):57-67,2006

総説等

- 1) 緒方昭広 吉川恵士 徳竹忠司 栗原勝美 東郷進:マッサージ等の手技による療法に関する研究-効果と有害事象に関する文献的検討- 東洋療法研修試験財団 平成17年度受託研究報告 2006.8
- 2) 吉川恵士:健康 24 時 医学と電子(伊藤超短波) 1月号~12月号 2006.
- 3) 吉川恵士:求人倍率 2.0 教員採用 100%合格 80%が視覚障害学生 筑波フォーラム 73 2222
- 4) 菅原正秋 吉川恵士:神経痛に対する低周波鍼通電療法の効果 医道の日本 759:39-46 特

集:ヘルペス後神経痛と鍼灸治療 2006.

- 5) 吉川恵士:腰痛患者の触診・運動学的診察のポイント 全日本鍼灸学会誌 56(3)380-381 2006.
- 6) 吉川恵士:特別なニーズを有する児童生徒の教育支援について 指定討論 第7回 日本リハビリテーション連携科学学会イブニングセミナー リハビリテーション連携科学 7(1)43-49 2006.
- 7) 宮本俊和,青木謙介,池宗佐知子,原賢二:スポーツ選手の肉離れに対する鍼治療の実際、医道の日本,65(8):44-48,2006
- 8) 原賢二, 宮本俊和:肉離れのアスレティックリハビリテーション, 医道の日本,65(8)49-56, 2006
- 9) 矢野健太郎,池宗佐知子,磯勇雄,原田美由貴,宮本俊和:ウォーキング大会参加者における膝関節痛に関する調査, ウォーキング研究,10:171-175, 2006
- 10) 宮本俊和:スポーツラボ疲労回復 ,朝日新聞,2006,12
- 11) 徳竹忠司:低周波鍼通電療法 筋肉パルス各論 1 僧帽筋,現代鍼灸学,6(1)3-7,2006

DVD

- 1) 宮本俊和監修,スポーツ障害を治す-早期回復の鍼療法とリハビリテーション-,医道の日本社,2006

学会発表等

- 1) 和田恒彦,白田幸世,福島正也,佐々木孝浩,坂上智恵,吉川恵士,宮本俊和:足底部の指圧刺激が腰下肢の皮膚温に及ぼす効果 第8回 wbuap 盲人マッサージセミナー-
- 2) 青木謙介,原賢二,宮本俊和:高校陸上競技選手における鍼治療に関する調査第55回全日本鍼灸学会学術大会 金沢 2006年6月
- 3) 泉重樹,宮本俊和,宮崎彰吾:経絡テストによる大学ボクシング選手の筋疲労の検討.第55回全日本鍼灸学会.石川.2006年6月
- 4) 片山証子,松澤恵美,竹内京子,黒川胤臣,宮本俊和,宮川俊平:スポーツ鍼灸と運動パフォーマンス-距腿関節(足関節)への灸刺激効果の検討- 第55回全日本鍼灸学会.石川.2006年6月
- 5) 宮本俊和:ワークショップ より安全な鍼灸臨床のためのアイデア(1)第55回全日本鍼灸学会.石川.2006年6月
- 6) 宮本俊和:ワークショップ 運動器疾患のサーモグラフィガイドラインに向けて 第23回日本サーモコロジー学会 青森 2006年6月

- 7) 原賢二,宮本俊和:ワークショップ 膝関節のサーモグラフィ 第 23 回 日本サーモロジー学会 青森 2006 年 6 月
 - 8) 矢野健太郎,池宗佐知子,磯勇雄,原田美由貴,宮本俊和:ウォーキング大会参加者における膝関節痛に関する調査 ウォーキング学会研究 東京 2006 年 6 月
 - 9) 宮本俊和:特別講演 スポーツ障害の鍼灸治療(腰部・下肢) 第 8 回全日本鍼灸学会東北 支部学術集会 盛岡 2006 年 7 月
 - 10) 青木謙介,向井直樹,目崎登,宮本俊和:シンスプリントの発症に關与する身体要因の研究 第 61 回 日本体力医学会大会 神戸 2006 年 9 月
 - 11) 池宗佐知子,今有礼,目崎登,宮本俊和:低周波鍼通電刺激が廃用性筋萎縮に及ぼす影響 第 61 回 日本体力医学会大会 神戸 2006 年 9 月
 - 12) 片山証子,竹内京子,向井直樹,白木仁,竹村雅裕,宮本俊和,宮川俊平:大学柔道選手への足関節灸刺激の効果 第 61 回 日本体力医学会大会 神戸 2006 年 9 月
 - 13) 三宅明子,宮川俊平,白木仁,向井直樹,竹村雅裕,宮本俊和:高校サッカー選手の腰痛と身体特性の検討 第 61 回 日本体力医学会大会 神戸 2006 年 9 月
 - 14) 宮本俊和:ワークショップ スポーツ鍼灸マッサージの実際 第 32 回 日本東洋系物理療法学会 和歌山 2006 年 10 月
 - 15) 泉重樹,宮川俊平,宮本俊和,金岡恒治,日浦幹夫:経絡テストによる大学ボクシング選手の疲労評価.第 17 回日本臨床スポーツ医学会.新潟.2006 年 11 月
 - 16) 徳竹忠司:シンポジウム 腰痛に対する低周波鍼通電療法.第 23 回現代医療鍼灸臨床研究会.東京 2006 年 4 月
- 講演等
- 1) 吉川恵士:理療科教育実習のあり方-学習指導案を中心に-筑波大学付属盲学校視覚障害教育研究協議会資料集 3 2006.
 - 2) 吉川恵士:低周波鍼通電療法の基礎と臨床 福岡県立高等盲学校研修科特別講義
 - 3) 吉川恵士:腰部神経根障害に対する低周波鍼通電療法の実際 九段パルス臨床講座 2006.
 - 4) 吉川恵士:手技両方の基礎と臨床 岐阜アソシア創立 65 周年記念講演会
 - 5) 吉川恵士:低周波鍼通電療法の基礎と臨床 東京都教育委員会主催 現職教育研究会
 - 6) 吉川恵士:日本の鍼灸治療について 第 8 回 世界盲人連合アジア太平洋地域盲人マッサージセミナー プレナリーセッション、実技セッション 2006.
 - 7) 吉川恵士:肩こりの手技療法 山梨県立盲学校理療科特別講演会 2006.1
 - 8) 吉川恵士:肩こりの鍼灸治療 山梨県立盲学校特別講演会 2006.
 - 9) 吉川恵士:首肩の触診の基礎と実際 日本盲人会連合関東ブロック指導者講習会
 - 10) 吉川恵士:心身症に対する鍼灸手技療法の応用 日本温泉研究所学術大会特別講演 2006.8
 - 11) 吉川恵士:視覚障害者職業の現状と将来 淑徳大学大学院特別講座 2006.10
 - 12) 宮本俊和:ウォーキングによる筋疲労とセルフケア,埼玉ウォーキング協会,3月,東松山
 - 13) 宮本俊和:成長期のスポーツ選手に必要な健康管理について,関東トレーニングセンター U-14,4月,埼玉
 - 14) 宮本俊和:シニアの膝痛のセルフケア,読売文化センター,4月,横須賀
 - 15) 宮本俊和:スポーツ分野における鍼灸マッサージの役割,日本視覚障害ヘルスキーパー協会,5月,東京
 - 16) 宮本俊和:運動器疾患の熱画像検査,日本サーモロジー学会講習会,6月,青森
 - 17) 宮本俊和:ウォーキングによる膝痛予防のヘルスケア,ジンマー株式会社,7月,東京
 - 18) 宮本俊和:スポーツ外傷・障害の診方と鍼灸治療,中和医療専門学校,7月,名古屋
 - 19) 宮本俊和:シニア登山者の膝関節痛,読売文化センター,7月,柏
 - 20) 宮本俊和:スポーツ分野での鍼灸治療の可能性,日本医専,7月,東京
 - 21) 宮本俊和:膝関節のスポーツ障害,新潟県鍼灸マッサージ師会,7月,新潟
 - 22) 宮本俊和:ウォーカのためのセルフケア,埼玉ウォーキング協会,7月,埼玉
 - 23) 宮本俊和:中高年のための健康体力づくり,石川県鍼灸マッサージ師会,9月,金沢
 - 24) 宮本俊和:スポーツ選手の膝関節障害の鍼灸治療,神奈川鍼灸師会,11月,相模原
 - 25) 徳竹忠司:低周波鍼通電療法の実際 広島県鍼灸マッサージ師会,7月,広島
 - 26) 徳竹忠司:低周波鍼通電療法の実際 横浜市立盲学校特別講義,10月,横浜
 - 27) 徳竹忠司:浅背筋の触察と低周波鍼通電療法の実際 筑波大学付属盲学校特別講義,10月,東京
 - 28) 徳竹忠司:低周波鍼通電療法の実際 石川県鍼灸マッサージ師会,11月,金沢